

梅の木“散髪”、さっぱりと

天野さんは「傾斜地で危険だが、実の収量や品質を良くするために欠かせない作業」と手入れに余念がない。

美郷で剪定本格化

徳島県内有数の梅の産地、吉野川市美郷地区で師走の風物詩の一つ、梅の木の剪定作業が本格化している。

美郷宗田の天野栄さん(77)方では、180坪の梅園で約500本の木を栽培。家族2〜4人がはしごを上り下りし、剪定はさみやのこぎりで伸びた枝を次々と切り落としていく。作業は来年1月半ばまで続く。剪定は、樹形を整えて日当たりを良くし、木全体に栄養を行き渡らせるために行われる。消毒の効果もあるという。



寒空の下、梅の木の剪定作業に追われる天野さん家族
—吉野川市美郷宗田